2025 年度

大学院　商学研究科〔博士課程(前期)〕

第Ⅰ期　入 学 試 験 問 題

論　文

◇試 験 時 間……１０：００～１１：００

◇解 答 時 間……６０分

◇解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。

◇問題は全部で４ページある。試験開始後，乱丁・落丁がないか確認すること。

志願時に選択した主専攻の系列の問題を解答すること。

「マーケティング系列」は１ページ，「経営系列」は２ページ，「会計系列」は３ページ，「租税法系列」は４ページに問題があります。

マーケティング系列

問.　以下の各設問について答えなさい。

設問1　製品戦略における計画的陳腐化を説明したうえで，その取り組みが企業へもたらすメリットと社会へもたらすデメリットを論じなさい。

設問2　プロモーションにおけるプッシュ戦略とプル戦略を説明したうえで，一般消費財の場合に採用されやすい戦略について，そのプロモーション目的を踏まえながら論じなさい。

経営系列

問. 以下の各設問について答えなさい。

設問1 フレデリック・テイラー（Frederick. W, Taylor）の科学的管理法について説明し，今日の企業経営への貢献と限界を説明しなさい。

設問2 「所有と経営の一致」と「所有と経営の分離」についてそれぞれ説明し，「所有と経営の一致」から「所有と経営の分離」へと変化する要因は何かを，企業の成長と資金調達の側面から説明しなさい。

会計系列

問. 次の A と B の問題から 1 つを選択し，解答しなさい。なお，解答にあたっては，選択した問題の符号（A か B）を，冒頭に明記すること。

A. 費用と収益の認識に関する基本的な考え方には，現金主義と発生主義がある。これらの会計基準に基づいて行われる会計を現金主義会計と発生主義会計という。現金主義会計と発生主義会計とは何かを明らかにし，それぞれの利点と欠点を説明しなさい。

B. 原価企画(target costing)とは何かを明らかにしなさい。なお，原価企画の概要，目的，原価企画を支援する具体的なツールおよび今日的課題説明を含めて記述すること。

租税法系列

問. わが国の税収の令和 6 年度予算では，所得税（17.9 兆円），法人税（17.0 兆円），消費税（23.8 兆円），相続税（3.3 兆円）とされている。このなかで，ここまで約 40 年間段階的に下げてきた法人税率を引き上げる方向に変わってきている。それはなぜなのか，税収予算を参考にしながら，あなたの考えを述べなさい。